

秋の家庭蔬菜園

東京女子高等師範學校教諭

大 岩 金

暑い筈の土用もつゞき雨勝で涼しく、やつゞ晴れ上つたと思つたのも亦つかの間で、又鬱陶しい天候になつてしまつた。今年の夏は青物わけても葉菜類、果菜類の出來が悪く、可成不自由であつた。こんな時にはいつもながら作り易い蔬菜を家庭園に作つておきたいものゝ痛切に感じる。その一つはツルナである。

一、ツルナ

ツルナは極めて作り易く、このやうに不順な天候の際でも時間々にはいつでも收穫が出來てゐる。そして六月頃から收穫し續けてゐるものは株の元の方に既に種子が相等多數についてゐるので、根元から數節残して刈り取り、残りの株間に下肥を入れておけば初冬の頃まで引續き收穫が出来る。

二、菠薐草

1、播種期

前號に於て九月始めまでに整地をしておくやうに述べ

たが、この九月十月は丁度播種時であるからなるべく早く地拵への出來次第播く事にしやう。云ふのは九月一杯位に播いたものは、年内に收穫が出來て、霜除の準備がいらぬが、十月も半ば過ぎになつたものは、收穫時が翌年になり、降霜の程度によつては霜除をしなければならぬやうになる。

2、土質

菠薐草は連作を嫌ふので、昨年この地に栽培した場合に、今年には休作し、苧蒿シユンギョウに代へた方がよい。

菠薐草は又酸性土壤を非常に忌むので瓜哇薯の收穫後消石灰を撒く事は極めて大切であるが、之の出來ない時には、葉灰か、木炭を必ず施用しなければならない。

3、種子

日本種の在來種は刺があり、寒さに對する抵抗力が強いので秋蒔に適する。

4、播種量

坪當四勺もあれば澤山である。

5、播種法

三尺幅の平畦を作り、是に二條播くやうにする。播く前に一日水に浸しておく。發芽が早い。尙菠薐草には覆土を餘り厚くしない方がよく、播方も粗めにした方がよい。

6、追肥、害虫驅除

發芽後本葉が四、五枚出た頃、尙一、二回、一、三週おきに下肥を施す程度でよい。

害虫としては發芽當時から根際に根切蟲、金龜蟲の幼蟲がつき株毎食切つてしまふから、植つたまゝで萎れた株が見付かつたならば、是を抜き取り、その周りを淺く掘つて見れば大抵の場合その邊にゐるから、捕殺するこよい。

三、苜蓿シシトマ

菠薐草同様の栽培法でよいが、是は連作しても差支へない。

播種量は前者よりも小粒であるので坪當三勺程で充分である。

四、トマトの後始末

九月も末になるこトマトの着色はずつと悪くなるから後作のため片付ける事にする。

青いものは糠味噌に漬けても食す事が出来る。

莖葉は抜き取つて健全なものは堆積して堆肥とし、病株

は焼却する。

次に雜草を片付ける程度にざつと後地を耕起する。その表面に消石灰を坪當り百五十匁位の割合に滿面に撒布しておく。

その後機を見てかねて用意しておいた堆肥（塵埃土でも結構である）をすき込みながら精耕してゆく。

是にコカブ、小松菜等を播種する場合には、地拵への出来次第播種すればよく、豌豆、蠶豆ソラマメなどの豆類を播く場合には、十月に入るのを待つてからの方がよい。

豆類は連作を嫌ふここの甚だしいもので、一度作つた土地は五年位は休まねばならない。

基肥としては堆肥の外に灰を入れる事が必要である。米糠も手に入れば用ひたいものである。

五、豌豆

豌豆は莢毎食べられる莢豌豆、實のみ食べられる實豌豆があり、又蔓になるものと、蔓なしの矮性種がある。

友柱にする材料のない時には矮性種が便利である。

空地利用の協同蔬菜園の各戸の境に、かなり色々な材料を用ひてある。中には相當目障りになる感じのするのさへある。こんな時に思はされるのは、折角の協同家庭園で、隣同志お互に親睦の計れる菜園であるから、もつさなごやかに、和らぎのある蔬菜か、觀賞用の花卉にしたい。

れには豌豆などは適當なものである。木の枝や、棒切を立
て、圍してあるものには、蔓性の豌豆を絡ませ、繩張り程
度のものには矮性種を選ぶよ。

株間は一尺五寸おきにして、一ヶ所に三、四粒宛播くの
である。

六、蠶豆

すべて豌豆に準じてよいが、是は蔓にならないので、支
柱は要らない。

七、一般の害蟲驅除

度重なるやうであるが、色々の葉菜類や、根菜類を播種
した昨今又害蟲が澤山出て来る。苗が小さく、蟲の發育の
進まぬうちに、早く退治しやう。少なくとも朝夕一回死は見
廻つてほしい。

土中の害蟲驅除は蒞葎草の場合と同様にする。

莖葉を害する害蟲に對して注意する點は、

1、葉の裏についてゐる卵(夜盜蟲、紋白蝶が多い)をこ
る。

2、葉裏に出たばかりの毛子のやうな夜盜蟲の幼蟲をつ
ぶしこころこ。 (靜かにしないさすぐ糸をたれて地に落ち
る)

又孵化當時は葉裏に集つたまゝであるが、やがて方々に
散る。

3、カブラバチの幼蟲で大根、白菜等の葉に黒い蟲がつ
いて、一寸觸れるとさすぐ地上に落ちるのがある。是は泥を
粘つて棒先につけ、是を蟲にそつとくつつけるを比較的容
易にされる。

4、心食蟲は菜類の新しい中央の芽の中に食ひ込んでゐ
る蟲で一丈見え難く、捕殺もし難いが、細い割竹の棒のや
うなものを差込んでつぶすよ。

5、その外野蟲のつく事もある。なんといつても一番惱
まされるのは害蟲である。藥劑不足の折柄でもあるから、
あまり大面積でない限り、家族の方々の細かな注意のもし
に、早いうち捕殺によつて確實に驅除したのがよいと思
ふ。

◎講習號の中の、理數科(田代順之氏御擔任)は十一
月號より掲載致します。

◎講習號は一冊でも缺けます。講習者にまつては
誠に無意味になりますので、例年九月號の追加申
込を見越し、多少餘計印刷してごさいます。御入
用の方は代金を添へ本會宛、御申込み下さい。

編輯係り